

第2学年3組 学級活動(2)指導案

指導者 T1
T2

1. 日時・場所 令和5年11月15日(水)13時30分～14時15分 2年3組教室

2. 題材 「自分の目をまもろう」
(ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成)

3. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

4. 題材について

(1)児童の実態

学級には、いつも元気で明るい雰囲気がある。学校生活に慣れてきた5月頃、目指す学級の姿について話し合い学級目標が決まった。一人一人の思いを聞くなかで、クラスのみんなが笑顔でいることが大切だという考えになり、合言葉は「えがお」になった。まだまだうまくいかないこともたくさんあるが、互いが関わり合い成長する姿をこれからも認め励ましていきたい。

5月に行った学級活動(2)「やさいパワー」では、栄養教諭と連携して授業を行った。野菜には、体の調子をよくする力がたくさんあることに気付き、一人一人が野菜を残さずもっと食べられるようにめあてを考えた。「苦手な野菜を小さくして、少しずつ食べられるようにする」「残してばかりなので、苦手な野菜を他のものと一緒に食べてみる」など自分にできそうなことを考え、めあてを立てることができた。授業後の実践では、苦手な野菜に一口挑戦する姿や、なかには全て食べ切る姿も見ることができた。一方、個別の支援が必要な子供も多く、自分で考えて行動することが難しい子もいる。めあてを一緒に考えたり、個に応じた声かけをしたりして実践を促すなど支援している。

学級活動(3)「2年生のめあてを立てよう」では、「キャリア・パスポート」を活用した。2年生の1年間にどのような思いで臨むのかを考えるための資料として活用した。「1年生の手本となるよう行動する」「困っていたら優しく声をかけたい」など1年生の頃とは違う下平間小2年生としての思いを膨らませめあてを立てる子供も多かった。実際に1年生にあさがおの種の植え方を教えたり、学校探検や遠足に一緒に行ったりするなかで、前向きにめあてに取り組む子供たちである。

学級活動(2)、(3)の学習を通して、自分の立てためあてに向かって取り組み、自分が成長していくことや目的意識をもって頑張ることのよさを実感できるようにしていきたい。

(2) 題材設定の理由

子供たちの様子を見て気になることが見られた。黒板の文字が見えにくくなり、今年度になって眼鏡の使用を始めた子が数人いる。4月に行った視力検査の結果を1年生の頃と比べると、半数近くの児童が視力検査の結果が下がったことが分かった。子供たちは、椅子に座ると姿勢が悪い子も多く、机と目の距離が近い子も多い。日々姿勢について声をかけているところである。またゲームや動画の視聴を長時間している子供も多い。視力の変化はいつ、だれにでも起こりうる可能性がある。

そこで養護教諭からは、視力低下につながる原因について伝える。「目(目の筋肉)を疲れさせないことが、目の健康につながることを伝え「物との距離(姿勢)」「長時間の使用」などについて、生活の仕方を意識することで、視力低下を予防することができることを意識させたい。養護教諭からの説明を受け、自分にできそうなことを話し合うことで、一人一人の目の健康を守るための生活の仕方に気付かせたい。また、自分の生活の仕方を振り返り、目の健康を守る大切さについても考えていくきっかけにもしたい。「自分の目は自分で守る」をキーワードにして自分の生活に合っためあてを立て、実践を通して目の健康状態を維持できるようになってもらいたいという願いを込め本題材を設定した。

5. 活動の実際

(1) 事前の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	資料	☆目指す児童の姿【観点】(評価方法)
朝の時間	・目に関するアンケートに取り組む。	○目に関するアンケートに取り組む、これまでの自分の生活を想起できるようにする。	アンケート (児童の意識を高めるための資料)	☆アンケートに取り組み、自分の目に関することを振り返り、課題についての解決の見通しをもととしている。 【主体的態度】(アンケート)

(2)本時の展開

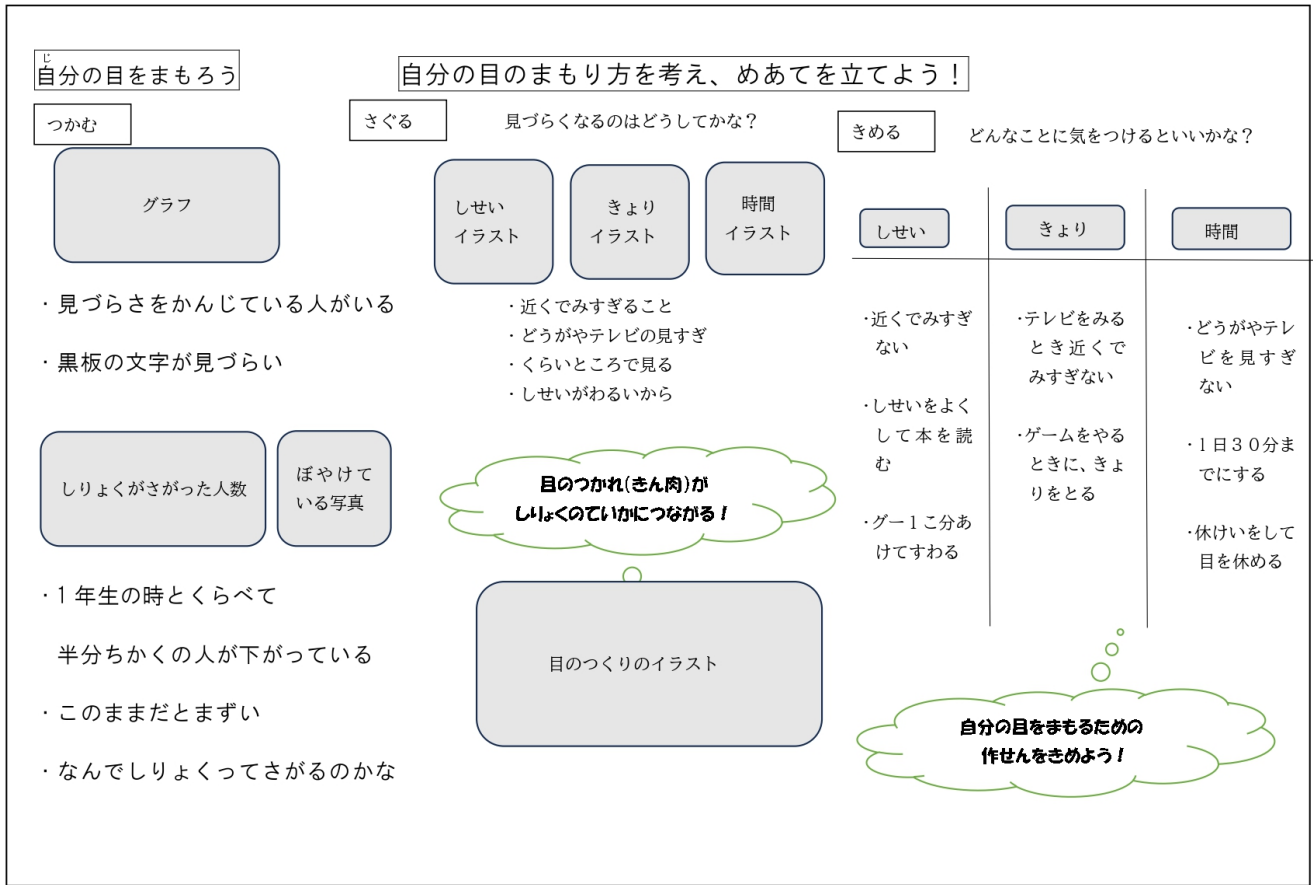
①ねらい 目の健康を守るための生活の仕方に気付き、目の健康を守るためによりよい生活の仕方を話し合っ
て、自分のめあてをもって実践できるようにする。

②展開

	児童の活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点	・資料	☆目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
導入 つかむ	1.視力検査の結果やアンケートの結果を見て、課題をつかむ。 ・自分の目はどうやって守ればいいんだろう	T1 アンケートや視力検査の結果をもとに気づいたことは何か投げかける。 T1ピントのぼけた写真を見た目を 守る意識を高める。	・アンケートや視力検査の結果 ・写真	
自分の目のまもり方を考え、めあてを立てよう。				
展開 さぐる	2. 視力低下の原因を考える。 ・テレビの見すぎかな。 ・近くで見る事かな ・しせいがかな。 3.視力の低下の原因を知る。 ・目を疲れさせないことが目を守ることに繋がるね。	T1児童のこれまでの経験や知識をもとに話し合えるようにする。 T2目の構造を伝え、目の周り(筋肉)を疲れさせないことが目の健康に繋がることを指導する。	・イラスト ・イラスト ・模型	☆目の健康を守るために、視力低下の原因について理解している。 【知識・技能】 (発言)
見つける	4.どのようなことを意識して、目を守っていくといいのか話し合う。 ・ゲームを1日30分までにして時間を決める ・姿勢が悪いまま書くと疲れやすいから、整筋を伸ばして姿勢よくする。 ・テレビを見るときは、自分の手を広げた分のきりをとる。	T1具体的にどんなことをすれば目の健康を守れるか考えるよう伝える。 T2児童の発言からつないで、具体的な方法を助言する。		
終末 決める	5.自分に合っためあてを決める。	T1めあてを決める時には、具体的な行動に結びつく言葉で意思決定できるようにする。 T2適宜助言をする。 T1時間があれば互いにめあてを紹介し合う時間をとり実践への意欲を高める。	・めあてカード	☆自分の課題に合った具体的なめあてを立てている。 【思考・判断・表現】 (観察・学習カード)

③本時の視点

④板書計画



(3)事後の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】(評価方法)
11月16日～	・自分のめあてを意識して生活する。	○めあてを掲示し、いつでも自分が確認、意識できるようにする。	☆意思決定しためあてに向かって、自分なりに努力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 (観察)
11月24日 帰りの会	・めあてに対する自分の取り組みについて振り返る。	○1週間の取り組みについて記入するとともに、今後も継続的に実践できるよう声をかける。	☆実践を振り返り、目の健康を心がけて今後の生活をしていこうとしている。 【主体的態度】 (学習カード)

6. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料

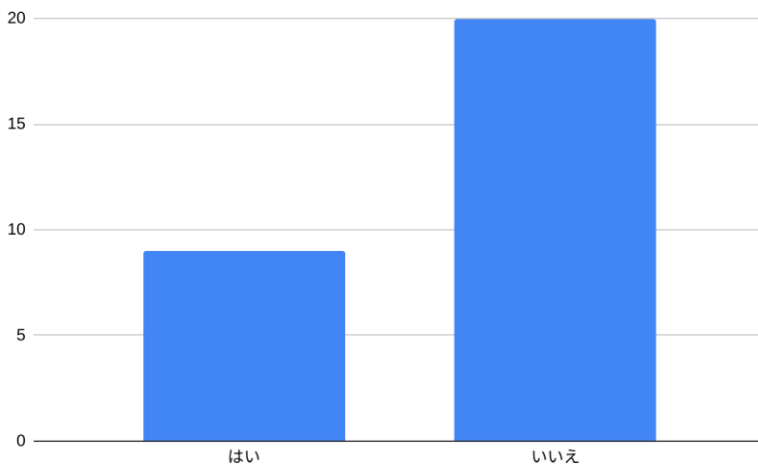
○目に関するアンケート

(GoogleFormsにて質問と回答をする)

- ①生かっている中で、目の見づらさを感じたことはありますか？
- ②しりょくが下がるのは、なぜだと思いますか？
- ③目やしりょくのこと、お家の人から言われたことやちゅういされたことはありますか？
あるひとは、何と言われたのか教えてください。

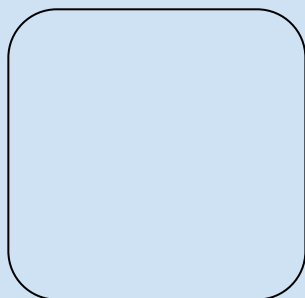
○アンケートや視力検査の結果

生活しているなかで、目の見づらさを感じていますか？



1年生のときとくらべて
しりょくが下がった人

人中



人

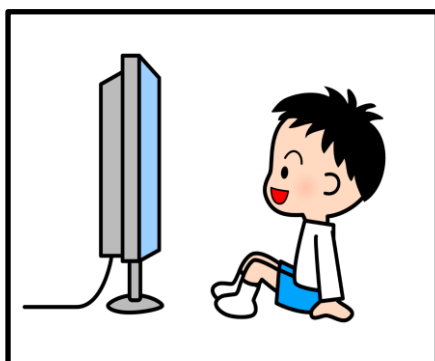
○視力の違いによる見え方



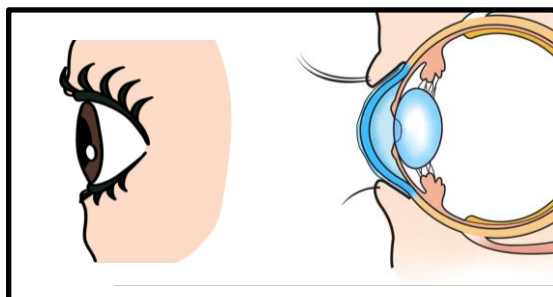
(「眼とメガネの情報室」 <https://mirulab.jp/>)

(2) ねらいを焦点化するための資料

○目が疲れやすくなる場面のイラスト



○目のつくりが分かる資料



(「少年写真新聞」 <https://www.schoolpress.co.jp/>)

(3) 実践への意欲付けのための資料 めあてカード

